

議案第2号

県立琴の浦高等特別支援学校校歌（歌詞）について

県立琴の浦高等特別支援学校校歌の歌詞について、次のとおり提出します。

平成24年9月3日

鳥取県教育委員会教育長 横濱純一

県立琴の浦高等特別支援学校校歌の歌詞について、別紙のとおり決定する。

## 県立琴の浦高等特別支援学校校歌(歌詞)候補

<p style="text-align: center;">三</p> <p style="text-align: center;"><b>歓喜の歌が</b> こだまする</p> <p>共に よろこび しんじあい</p> <p>明日<sup>あした</sup>を生きる 仲間たち</p> <p style="text-align: center;"><b>勇気の翼 はばたかせ</b></p>	<p style="text-align: center;">二</p> <p>素直な心 そのままに</p> <p>知識を磨き 今日もまた</p> <p>共に いそしみ みとめあい</p> <p>明日<sup>あした</sup>へ踏み出す 仲間たち</p> <p>はるかな道を ゆうゆうと</p>	<p style="text-align: center;">一</p> <p>海風<sup>うみかぜ</sup>かおる 曙<sup>あけぼの</sup>に</p> <p style="text-align: center;"><b>波音響く 琴の浦</b></p> <p>共に はげまし ささえあい</p> <p>明日<sup>あした</sup>を拓く 仲間たち</p> <p style="text-align: center;"><b>希望の舟に</b> 夢をのせ</p>	<p style="text-align: center;">③ 琴の浦高等特別支援学校 校歌</p> <p style="text-align: center;">「仲間たち」</p>
---	--	---	---

- 1 作詞者 鳥取市 伊藤 學 氏
- 2 応募数 11件
- 3 選考期日 平成24年7月23日(月)
- 4 選考委員

分野	所属・職名等	役職	氏名
有識者	鳥取大学	教授	新倉 健
有識者	鳥取県教育審議会	委員	山田 節子
有識者	鳥取県教育センター	所長	坂本 修一
地域関係	琴浦町赤碕地区公民館	館長	藤田 弘志
地域関係	琴浦町青少年育成会	会長	河崎 正
保護者代表	県立倉吉養護学校PTA	副会長	三好 幸美
保護者代表	県立米子養護学校PTA	会長	松下 弘美
学校関係	県立倉吉養護学校	教諭	中嶋 容子
学校関係	県立米子養護学校	教頭	土岐 恵理美

## 5 選考理由等

## (1) 選考理由

ア 校歌の題「仲間たち」がよい。全体から浮かぶ内容が、みんなでがんばっていこう、誇りを持って、共に成長していこうという感じがでている。

イ 「ささえあい」「みとめあい」「しんじあい」が良い。高等特別支援学校という学校のメッセージ性がでている。

## (2) 修正意見

ア それぞれテーマが、一番「海」、二番「大地」となっているようなので、三番は「空」をイメージしてはどうか。

イ よりテーマを強調するため、一番の最終行を「希望の窓に」を「希望の舟」に、また、三番の最終行について、「勇気と誇り 胸に秘め」を「勇気の翼 はばたかせ」と修正してはどうか

ウ 一番の「ささなみ歌う」は、日本海のイメージとしては穏やかで、波の荒いときもあることから「波音響く」がより表現としてはふさわしいのではないか

エ 一番を「波音響く」とすると三番の「響き」と重なるので、「歓喜の響き」を「歓喜の歌」と修正してはどうか

## (3) 応募者への確認結果

すべての修正箇所について、了解が得られた。

※応募者への確認結果から、歌詞の一部修正を加え候補案とする。(修正箇所太字)